



野鳥 コサギ

全長：全長 61cm、翼を広げると 98cm ほど。海岸、河川、池沼、水田など浅い水辺で餌をさがします。巣は樹上につくりますが、水に囲まれた林を最も好み、集団になって繁殖します。

ニュース **2021.9.1**
Vol. **241**

とうめい news

〒243-0034 厚木市船子237
TEL. 046-229-3377
発行者：河野 昌史
編集責任者：和田 博貴
印刷：(有)タイム21

ホームページアドレス <http://www.tomei.or.jp/clinic/>

Withコロナ時代における健康維持

外科・乳腺外科：
鎌田 順道

TOPICS

新型コロナウイルス感染収束を願って

新型コロナウイルスの感染予防のために、私たちの生活が変化して1年以上が過ぎました。ワクチン接種を済まされた方も増えてきましたが、さらなるワクチン接種の普及と皆さんの感染予防で、感染が早く収束することを祈るばかりです。

コロナ禍における医療は、通常の診療にも大きな影響を与えました。とくに発熱のある患者さんへの対応には慎重になりました。発熱のある患者さんには、まず新型コロナウイルスの検査を行うことが基本となってきています。他の原因が明らかであるのに、発熱があるだけで半ば強制的に新型コロナウイルスの検査をされ、不快に感じた患者さんもいらっしゃるかと思います。しかし皆さんの協力のおかげで、病院における感染拡大を予防できています。

コロナ禍においても必要な受診はしましょう

コロナ禍においては病院の受診控えの問題も生じました。度重なる緊急事態宣言が出されたため、過度に新型コロナウイルスを恐れ定期的な受診をしなくなった方、なんらかの症状があるのに放置してしまった方も多くいると聞いております。病院に行くとコロナに感染するのではないかという心配もあるようですが、病院は万全の対策を行っていますので、安心していただければと思います。

それ以上に怖いのは受診を控えることによる持病の悪化です。とくに高血圧症や糖尿病などの生活習慣病は、薬を飲まなくても症状を生じないことも多いため注意が必要です。日本人が世界でもトップクラスの平均寿命を維持できているのは、このような

生活習慣病の管理がきちんとなされているおかげです。きちんと受診し、生活習慣病の管理をすることは、脳梗塞や心筋梗塞などの命に関わる病気を防ぐことにつながります。

コロナ禍においてもがん検診を受けましょう

2020年度はがん検診の受診者数が大幅に減少する傾向も見られました。がん検診は不要不急なのでしょうか？新型コロナウイルスの感染拡大が1年以上つづく現状では、がん検診もしっかり受けることをおすすめします。私は当院で乳がんの診療を担当していますが、やはり検診を受けていなかったために、かなり進行した状態で受診される患者さんもいらっしゃいました。コロナを恐れてがん検診に行かないと、症状が出る頃には取り返しのつかないことになってしまうこともあります。

とうめい厚木クリニックでは自治体を実施しているがん検診（胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がん・前立腺がん）を受けることができます。ご希望のある患者様は自治体からの案内をみていただき、当院に申し込んでください。

Withコロナの時代においてはコロナを正しく恐れ、通常の健康管理にも気をつけることが大切です。皆様が健康な状態でAfterコロナの時代を迎えることができれば幸いです。

